

## 二十八年振りに百余名が集う!!

高校第5回卒 山田 憲 幸

桜ヶ丘の校舎を離れてあつた心は是非一度全員が集まろうという間に二十八年の月日が流れた。その間、男女別、あるいはクラス毎に一部の人が集まる程度の集まりはあったが、同窓生が一同に集まる機会は一度もなかった。そこで、関市の在住者と、当に涙を流して喜ぶ人も出た。

## 同窓会雑感

高校2回卒 恒川 悦郎

昭和五十六年十月二十四日、午後四時関市日之出町寿楽荘で関高第2回卒業生同窓会が開催された。私達砂場先生を失い、正面は西部先生お一人だけ。櫛の歯がぬけたように淋しさとひとしお。クライマックスは西部先生の詩吟、現在の心境を詩に託し、朗々と謳うさまに、一同シーンと聞き惚れる。万雷の拍手喝采し止まず。卒業後初めて参加された方も二三人ありましたが、どの方も同窓会とは、かくも楽しいものだ。この言葉が私達の同窓会への気持ちを云い尽しているような気がします。来年は又、元気で岐阜でお会いすることを約束し、それへ帰路についた。

## 在所に帰ったような会

高校3回卒 河合 定彦

八月二十三日、快晴、寿司店を借りきって、思い思いのグループに別れて水割、ワインを飲みながら歓談。十二時半、本番、酒代が少しは……の予測もむなしく、おかげで大変な賑わい。午後五時、マイクを渡して我々の学んだ旧校舎に寄り、中池ゴルフ場で

## お下げ髪の乙女に戻った同窓会

高女22回卒 横山 和子



私は終戦の年、モンペ姿で戦いの負け続く中、女学校を卒業しました。三月は卒業式のみで学校にとどまる者も上級学校に進学する者も、そのままとりました。私は六月月師範学校本科に進むため、学校を去りました。昭和生まれの私は、やがて花嫁となり、明治気質の夫の両親と夫の兄弟達に従順につかえました。又、戦後身も心もやがて軽くなり、小ジワを一生懸命伸ばして、同窓会に何等かの期待感を持って出席しました。集まった有閑マダム、あえてこの言葉が使いたい程、皆若々しく幸せな顔をしていました。笑い、

## 疎開時代をしのぶ

高女24回卒 安田 澄



私は昨年八月二十七日小雨もようの中、小瀬の足立鶴匠のお宅で同窓会を開きました。井上、見藤、山岸(菊地)、先生のご出席をいただいて、六十余名が集いました。入学時百五十名だった生徒数は、大戦末期の疎開のために、卒業時には二百五十人にもなった時代でした。オサゲ髪の学生時代をなつかしんで、おしゃべりをしたり、ローレライの歌などおもしろいうたつたりして楽しく過ごしました。

花火のごとく去った友達の後姿に別れをのべ、来年も元気で「永遠の青春会」に参加したいものだ、センチな思いがよぎりました。この同窓会にお骨折り下さいました幹事の皆々様、そして、主婦に自由な時間をあたえて下さった御主人様、そして家族の皆々様に感謝しなければなりません。

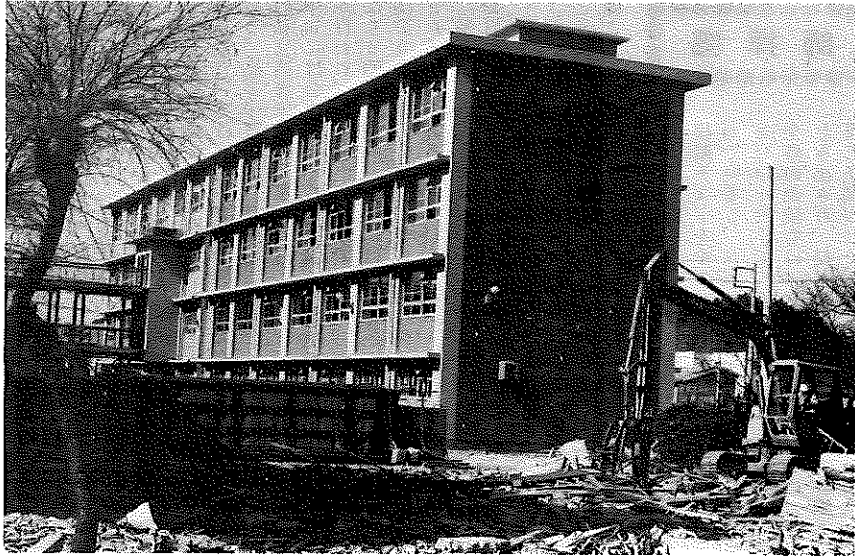


発行 岐阜県立関高等学校 同窓会会長 大塚 曜夫  
印刷所 ムトウ プリント

## 理科棟改築

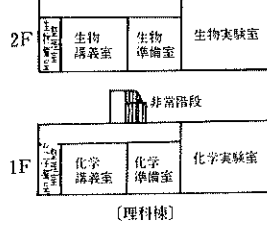
## 昇降口新築完成

(57年3月)

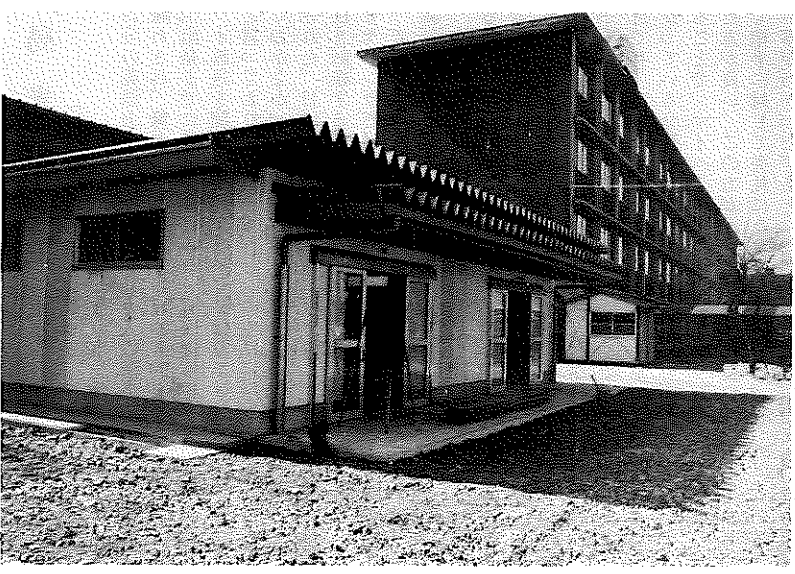


昨年より本校におきまして理科棟改築・昇降口の新築工事がすすんでいました。この理科棟等の建築内容を報告したいと思います。

老朽化が進んだ理科棟の改築は学校関係者一同の念願でもありました。この念願を達成せんがためPTA代表の方をはじめとして皆様方が当局へ何度も足を運ばれ陳情され、ついに一昨年九月に県教委学校施設課によつて耐力測定の実施が行われました。そして昨年三月下旬、理科棟改築が本決りとなりました。それと並行して生徒の昇降を一ヶ所完成した新理科棟(上)と内部見取図(左)



- (1) 規模 地上四階鉄筋コンクリート造り
- (2) 延面積 理科棟 二二九八㎡ (各階三四五㎡)
- (3) 昇降口 九〇㎡
- (4) 四階は美術教室の他、地学実験室となりました。
- (5) 工事のあらまし 五十七年三月下旬に完成の工事日程が昨年四月にきまりました。その後、建築について県から説明があり、六月から、現理科棟の取りこなし、整地が行われ、順次、理科棟、



昇降口の形が現われました。この工事に先立ち、また、工事中に色々健康関係者に気を配っていただきましたことを紹介しておきます。

この建築は現理科棟跡地ということですが、全部を取りこわすところを建築予定地と取りこわすという処置がとられました。このことは、建築中、生徒の理科実験に一日でも長く利用され、学習できるような配慮されたもので、当局の御厚情をありがたく思っています。また、請負建築会社には、生徒の学習の支障にならないよう極力、騒音の工事等を授業中はさけるというように何かと心配りをしてくださりました。

以上、建築のあらましをのべましたが、これの完成によって本館の裏は整備されることになりました。しかし近年、本校本館校舎正面の敷砂利が歩行のしにくさ、利用価値、また自動車の砂利による騒音等を考慮されるようになり、PTAの援助で正面から第二体育館までの二五〇〇㎡を舗装することが決められ、昨年八月十日着工し、十九日に完成しました。

正面からの眺めは校舎前の植木、グラウンドとの境界のヒマラヤシードとマッチし整然となりまりました。また生徒の雨上がりのよいトレーニング場として部活動に励む姿をよくみるこの頃です。

本館を中心として関高の施設、設備も整備完成され、いよいよ生徒諸君の学習に、運動に奮起を一層期待したいと思います。

\* \* \*

### 美術部同窓会の開催

日時 昭和57年5月9日(日) 一時

集合場所 日本歴史館 (可児郡土田)

宴会場 名鉄大山ホテル (大山市木曾川畔)

会費 男子 一万円 女子 八千円

問い合わせ (森 道雄方) TEL (〇五七四二) 五一三五二九

### 第四回卒業生十月に集合せよ

年月の過ぎるのは早く、今年には卒業の年から満30年となり同窓会を開催するに当たりまして折角の機会として私共がお世話になった諸先生方からの御寄稿をいただき、私共の30年間の歩みを主体とした小冊子を発行したいと考えて、皆さん方の想い出の記や写真等の御協力を是非お願いいたします。

今一つは私共の卒業した母校に卒業満30年同窓会記念として植樹をいたしたいと思っておりますので御了承下さい。くわしくは後日案内致します。

場所 岐阜ランドホテルの予定

月日 十月二十四日(日)十二時

### おくやみ

田村 幸次郎先生 (S38/45)  
56年8月24日死去  
河田 孝先生 (S42/49)  
56年10月3日死去  
古田 信次郎先生 (S31/36)  
56年11月21日死去  
心からご冥福をお祈り申し上げます。

